

■ 会場へのアクセス



(「Google マップ」を元に作成)

●JR で来館するなら

- ・博多駅から黒崎駅まで特急で約 40 分
- ・小倉駅から黒崎駅まで快速で約 12 分、普通で約 17 分
- ・黒崎駅から地域連携センター(コムシティ2階)まで徒歩約3分

●車で来館するなら

北九州都市高速で八幡ICから黒崎ICまで約 12 分、下車後コムシティまで約 10 分
北九州都市高速で門司ICから東田ICまで約 32 分、下車後コムシティまで約 10 分
コムシティに有料駐車場あり(約 680 台収容、24時間利用可能)

その他の地図は、地域連携センターのホームページ(以下の URL)をご覧ください。

<http://www.kiu.ac.jp/organization/rccenter/access/index.html>

照会先: 東アジア学会事務局: 総田芳憲(立命館アジア太平洋大学)
TEL: 0977-78-1024 / E-mail: kaseda@apu.ac.jp
当日の連絡先: 木村貴(九州国際大学、開催校責任者): 090-7444-2094

東アジア学会第 25 回大会

戦後 70 年

— 東アジアの共生をともに考える —

大会プログラム

日時: 2015 年 10 月 17 日 (土) 10:00~17:30 (受付 9:30~)

場所: 九州国際大学地域連携センター

(〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 2 階)

主催: 東アジア学会

共催: アジア共生学会

後援: 九州国際大学

午前の部（10:00～13:00）

司会：木村貴（九州国際大学法学部准教授）

■ **自由論題研究報告**

◇**第一部**：座長：加峯隆義（公益財団法人九州経済調査協会総務部次長）

・**第1報告**（10:00～10:40）

「ダイバーシティ・マネジメントと人材育成の理論研究

—国際ビジネスにおける多文化共生—」

報告者：高松侑矢（西南学院大学大学院経営学研究科博士後期課程）

・**第2報告**（10:40～11:20）

「国際観光の側面からみた北九州市の現況と問題点」

報告者：金戊丁（西南学院大学大学院 博士研究員）

・**休憩**（11:20～11:30）

◇**第二部**：座長：西田顕生（西南学院大学商学部教授）

・**第1報告**（11:30～12:10）

「韓流における韓国新聞メディアのナルシズム的表象」

報告者：辛教燦（熊本学園大学大学院国際文化研究科博士後期課程）

・**第2報告**（12:10～12:50）

「中国の原発産業の現状と課題」

報告者：中野洋一（九州国際大学副学長/アジア共生学会会長）

昼食（13:00～14:00）

会場内には食堂はありませんので、近隣のレストラン等をご利用ください

午後の部 (14:00~17:30)

司会: 荒木雪葉 (西南学院大学非常勤講師)

■ 開会あいさつ

小川雄平 (東アジア学会会長/西南学院大学名誉教授)

◇シンポジウム

「戦後 70 年—東アジアの共生をともに考える—」

座長: 総田芳憲 (立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部教授)

・第 1 報告 (14:00~14:30)

「植民地主義における知的構造の「ブーメラン現象」 —「在朝日本人」の事例を中心に—

報告者: 申鎬 (九州大学韓国研究センター協力研究員)

・第 2 報告 (14:30~15:00)

「アジア・太平洋戦争後の在外財産(資産)補償問題」(仮題)

報告者: 山田良介 (九州大学持続可能な社会のための決断科学センター講師)

・休憩 (15:00~15:10)

・第 3 報告 (15:10~15:40)

「1970、80 年代、日本における公害企業輸出反対運動の展開と日韓関係

—越境する新しい社会運動の観点から—

報告者: 鄭有景 (九州大学持続可能な社会のための決断科学センター助教)

・第 4 報告 (15:40~16:10)

「集団訴訟の伝播に関する政治学的研究:

韓国・台湾ハンセン病補償請求訴訟を事例として」

報告者: 土肥勲嗣 (久留米大学法学部講師)

・休憩 (16:10~16:20)

・討論・質疑応答 (16:20~17:30)

コメンテーター: 安達義弘 (帝京大学文学部教授)

波瀾剛 (九州大学大学院比較社会文化研究院准教授)

■ 閉会あいさつ

中野洋一 (九州国際大学副学長/アジア共生学会会長)

懇親会 (18:00~20:00)

会場: 黒崎駅近辺を予定

※報告要旨は 9 月中旬より順次学会ホームページ【<http://www.eastasia.jp/>】に掲載いたします。

なお、大会当日には報告要旨集を配布する予定です。